

地球温暖化対策計画実施状況報告書(最終報告)の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	矢崎シスコムプラス株式会社 代表取締役社長 朝比奈 克好	市内の 主たる住所	相模原市中央区相模原5-2-1 I-2A
主たる事業 の内容	開発設計(自動車部品)		

2 計画期間

令和 5 年度 ~ 令和 7 年度

3 計画年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	16.0 t-CO2	計画最終年度 排出量	11.0 t-CO2
計画最終年度 排出削減量	5.0 t-CO2	計画最終年度 排出削減率	31.3 %
(原単位を設定した場合)計画最終年度の原単位排出量削減率			%

4 計画年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

2024年9月に事務所内の照明を「蛍光灯→LED」への入替を実施。 その他照明設備の消灯促進(例:昼休み時の間引き消灯、残業時の不在エリア消灯など)および空調設備の節電促進(例:室温目安の明確化、過度な空調使用の抑制)を継続実施することにより温室効果ガスの排出量減少に至った。

5 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容【計画書記載事項】

対象年度	措置の内容	実施状況
令和6年度	本社内の蛍光灯36台を高効率照明器へ更新	実施済
令和7年度	本社内の空調機2台を高効率空調設備へ更新	実施なし
令和5年度～ 令和7年度	照明設備の消灯促進	実施済
令和5年度～ 令和7年度	デマンド制御導入	実施なし

6 計画内容の進捗状況に関する説明

資金面の問題から計画を立てた「デマンド制御導入」「照明設備のLED導入」「空調設備の高効率エアコン導入」の中から優先順位を決め、市補助金申請を活用した上でのLED導入を行なった。(デマンド制御およびエアコンについては現時点での対応予定無し) 「照明設備の消灯促進」については対応が社内に浸透し、継続実施できていることから空調設備においても過度な使用抑制にも繋がり、プラスαの効果になっている。

7 その他、計画期間に実施した地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

弊社を含む矢崎グループでは環境配慮設計について独自の認定基準を設け、開発部門において設計段階から製品に関わる環境負荷の低減と製品の付加価値の向上を目指している。また、製品のライフサイクル(製造、使用段階)における環境影響をLCA(ライフサイクルアセスメント)手法を用いて評価し、社内認定基準を満たした開発製品は環境配慮型製品として認定している。
--